



Jichi 地域連携ニュース



- 新年のご挨拶・連携ニュース発刊によせて
- 老化抑制遺伝子クロトーを巡る話
- 循環器内科からのメッセージ
- 着任のご挨拶 眼科 川島教授
- 新レジデントハウス完成
- 講演会のお知らせ

新年のご挨拶・連携ニュース発刊によせ

自治医科大学附属病院長 島田 和幸



新年あけましておめでとうございます。昨年は、千年に一度という大震災に遭遇し、大いなる悲しみと苦難に直面しました。しかし、その中から“絆”が生まれ、改めて我々日本人の優れた資質を再認識することにもなりました。今年、我が国の医療・社会保障改革の元年となります。震災復興とともに医療再生の好機としたいものです。このメールマガジンは、自治医科大学附属病院が地域の医療関係機関との連携を促進するために定期的に発刊するものです。

- ①医療技術が日進月歩する現在、本院がどのような診療を行っているか知っていただくこと、
- ②本院が地域医療機関の皆様に向け、お伝えしたい事柄をリアルタイムに周知すること、
- ③本院で行われている様々な活動を紹介して、本院のことをよく知っていただき、より“顔の見える”連携を目指すこと、以上の3つを目標としています。

現在、本院は外来棟のリニューアルが進行中です。また、「高度急性期医療」により特化するために、ICUの増床やハイブリッド手術室の造設などを検討中です。院内の体制については、医師や看護師の勤務体制の合理化、チーム医療のいっそうの充実などの改革を進めています。

これからの医療は地域の医療機関が各々の機能を分担し、お互い連携することが必須とされています。私たちのことをよく知っていただき、地域医療機関の皆様と情報を共有するためのコミュニケーションツールとして、このメールマガジンを育てていきたいと考えています。一方通行の情報発信ではなく、皆様からのご意見、ご要望をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

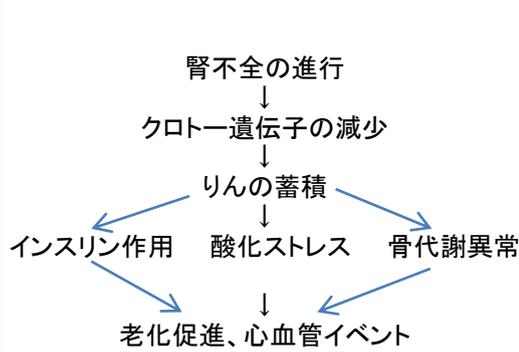
😊😊😊 診療科からのメッセージ 😊😊😊

老化抑制遺伝子クロトーを巡る話題

内科学講座腎臓内科学部門教授 草野 英二



さて、今回は慢性腎臓病(CKD)が心血管病(CVD)の新たな危険因子として注目されている背景を紹介したいと思います。CKDを放置しますと末期腎不全のリスクが上昇することはよく知られていますが、腎臓のみならず、全身の血管系にも及ぶことが明らかにされてきました。以前から腎機能が低下すると心血管系疾患(CVD)の発症や死亡が増加することが知られていて心腎相関と呼ばれて来ましたが、一般に、CKDにおけるCVDの発症のリスクファクターとしましては、高血圧、糖尿病、脂質代謝異常、貧血、腎不全に伴う代謝産物の蓄積などが挙げられますが、これらが血管障害を起こして結果的にCVDを発症すると考えられていました。



最近、上記のリスク因子に加えて、老化抑制遺伝子クロトーの減少が注目されています。クロトー遺伝子は主に腎臓と脳に多く発現していますが、腎不全の進行に伴い、腎臓での発現量や血中のクロトー蛋白の減少が occurs。従いまして、クロトー遺伝子の減少が、透析患者を含むCKD患者のCVDの発症に関係している可能性が想像されますが、事実そのような報告がなされています。最近、そのメカニズムの一端が明らかにされつつあり、リンの代謝異常が関係することが明らかになってきました。詳細はここでは紹介出来ませんが、私とクロトー遺伝子の発見者である黒尾誠先生の共著になる「腎臓病から見た老化の秘密」なる本のご一読をお勧め致します。自分の本を紹介するのは大変恐縮なのですが、腎臓病の理解と心血管系疾患や老化との関連を知るいい機会と思います。

例年にも増して厳しい寒さが続いておりますが、当循環器センターにも急性心筋梗塞や急性心不全など数多くの救急患者様が搬送されております。当科では、急性心筋梗塞年間約200例、心不全年間約400例の入院治療を行っておりますが、循環器救急においては、いかに適切な初期対応ができるかが患者様の予後に大きな影響を与えるため、できるかぎり短時間で適切な診断・治療を開始することが重要と考えております。例えば、急性心筋梗塞患者様では、病院到着から冠動脈再灌流までの時間、いわゆるDoor-to-Balloon timeをできるだけ短くできるよう、スタッフ一同努力しております。今後も、循環器疾患が疑われる患者様の診療に、24時間態勢で積極的に取り込んでいく所存ですので、是非御紹介をお願い致します。

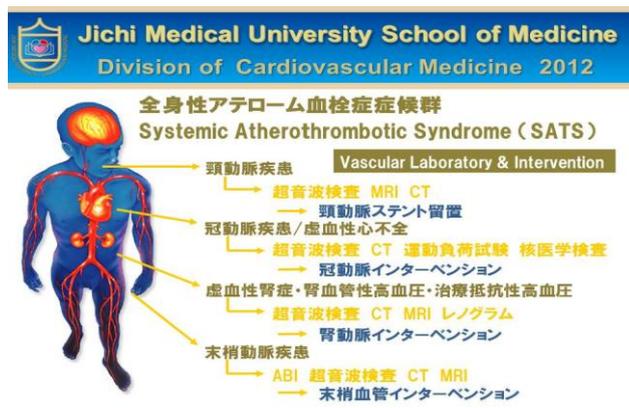
以下に、最近のトピックスをいくつか御紹介致します。

・急性期治療から2次予防へ ～医療連携パスの活用～

前述のごとく、循環器疾患の予後改善には適切な急性期治療が大切ですが、それに続く適切な慢性期管理・2次予防も極めて重要です。急性心筋梗塞においては、抗血小板薬の継続、β遮断薬やRAS系阻害薬による心筋リモデリングの抑制、スタチンを中心とする脂質低下療法などが大切な治療となります。昨年、栃木県医師会が中心となり、急性心筋梗塞の医療連携パスが作成されましたが、患者様の再発予防、予後改善のために積極的な活用を宜しくお願い致します。

・全身性アテローム血栓症への取り組み

言うまでもなく動脈硬化性疾患は全身疾患であり、多くの血管病変を併せ持つ患者、いわゆるpolyvascular diseaseでは、心血管イベントの発症や予後が不良であることが明らかとなっております。最近当科では、全身の血管病変を全身性アテローム血栓症候群 (Systemic Atherothrombotic Syndrome : SATS) と名付け、包括的にスクリーニングを行い、必要に応じて適切に治療介入 (薬物や血行再建を含む) を行うことに積極的に取り組んでいます。例えば狭心症で入院された患者様に対し、エコーなどを用いて頸動脈、腎動脈、末梢動脈の評価を行うと、頸動脈に高度狭窄を認める場合や、間欠性跛行を伴った閉塞性動脈硬化症を認めることがあります。動脈硬化性疾患の予後を改善するために重要なアプローチを考えておりますので、治療方針に悩む患者様がいらっしゃいましたら是非御紹介ください。



着任挨拶 眼科教授 川島 秀俊



この度2011年5月に自治医科大学眼科に着任いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、「強い」地域医療の実現そして提供を目指しております。Speciality専門分野は言うに及ばず subspecialtyも含め幅広い診療をご提供し、近隣のフロントラインで診療している諸先生および在住患者様のニーズにお応えしたく思っております。

幸い今の自治医大眼科には、網膜硝子体疾患specialistとして高名な佐藤教授、病理の知識では眼科界において右に出るものがない角膜・腫瘍疾患担当の小幡准教授、患者数は全国トップクラスで信頼も厚い斜視弱視担当の牧野講師、そしてドライビングシミュレータを用いた緑内障患者の自動車運転能力の研究で知れ渡った緑内障担当の国松講師、などの専門家が勢揃いしております。私自身は、白内障はもとより、ぶどう膜炎とその合併症に対して内科的・外科的治療を行っております。これら以外の疾患に対しても、医局員で一丸となって全力対応し、「強い」地域医療の実現そして提供を心掛けて参ります。

皆様におかれましては、何卒宜しくご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

トピックス

◇◇ 新レジデントハウスが完成 ◇◇

研修医の方々が自治医科大学附属病院での初期研修に意欲をもって取り組んでいただくため、ワークライフバランスの要である“住”環境を整備しました。

総戸数は219戸で各室は1LDK(浴室付)、共同浴場やトレーニングルームを完備し勤務後の心身のリフレッシュが図れるよう工夫されています。

勿論、研修内容としては総合的な臨床能力を身につけることができ、認定医・専門医取得に必要な症例の体験や、多数のセミナーも受講できるよう準備されております。

是非とも、栃木県での臨床研修を希望する方をご紹介します。



♪♪♪ 附属病院からのお知らせ ♪♪♪

※ 臨床腫瘍学講演会

参加無料(申込み不要)

本学では、文部科学省採択事業「がんプロフェSSIONAL養成プラン」に国際医療福祉大学と連携して取り組んでおり、その一環として本講演会を開催しております。

演題・講師	日時	会場
婦人科がんに対する集学的治療と緩和医療 自治医科大学婦人科 講師 竹井 裕二	H 24年2月7日(火) 18時～	自治医科大学 臨床教室1
早期からの緩和ケアとは 自治医科大学緩和ケア科教授 丹波嘉一郎	H 24年2月15日(水) 18時～	自治医科大学 臨床教室2 国際医療福祉大学(モニター中継)
胃癌手術の適応と成績 自治医科大学消化器外科 准教授 細谷好則	H 24年2月23日(木) 18時～	自治医科大学 記念棟9階会議室 国際医療福祉大学(モニター中継)
中枢神経系疾患の放射線療法 自治医科大学放射線腫瘍部 講師 大森義男	H 24年2月28日(火) 18時～	自治医科大学 記念棟9階会議室 国際医療福祉大学(モニター中継)

※国際医療福祉大会場での聴講を希望される場合は事前に連絡してからお越しください。

国際医療福祉大学 教務課大学院担当 0287-24-3209(直通) 栃木県大田原市北金丸2600-1

問合せ先 自治医科大学 学事課 0285-58-7477(直通) e-mail;cancer@jichi.ac.jp

※ 患者紹介についてのお願い

医療機関を受診された患者様を当院にご紹介いただく際には、紹介状(診療情報提供書)をご持参くださるようお願いいたします。紹介状がない場合、初診時**選定療養費として2,625円**を診療費とは別に患者様にご負担いただくこととなります。

また、**次の診療科**は当院の体制上、紹介制又は完全予約制とさせて頂いておりますが、緊急を要する患者様につきましてはこの限りではございませんことを申し添えます。

<附属病院>

診療科	初診の方
精神科	完全予約制 (☎0285-58-7130 14-16時)
乳腺・総合外科	紹介優先制 ※
形成外科	月～木
心臓血管外科	火・木
美容外科	完全紹介・予約制 (☎外科受付 11時まで)
眼科	完全紹介制
耳鼻咽喉科	完全紹介制
歯科口腔外科	完全紹介制

<子ども医療センター> 受診は中学生の方までです

診療科	初診の方
小児外科	月・水・木 (午前)
形成外科	月・木 (午前のみ)
移植外科	完全予約制(☎小児科受付)
小児脳神経外科	火(午前)・金(午後)
小児先天性心臓血管外科	水(午前)・金(午後)
小児整形外科	月(10-11時)・木(午前)
小児泌尿器科	火・水の午後
子どもの心の診療科	完全予約制(☎小児科受付)
歯科口腔外科	完全紹介制
耳鼻咽喉科	完全紹介制 月・水 (午前のみ)

精神科以外の☎問合せ先 0285-44-2111(代表)から各科外来受付へ

※ 乳腺・総合外科については、非常に患者数が多いことから、他医療機関において「がん確定」又は「強くがんが疑われた方」を中心にご紹介をいただき治療をさせていただいております。検診や検査を希望する方は、医事課初診窓口で乳腺専門医のいる医療機関をご紹介しますので、まずはそちらを受診することをおすすめしております。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。